

年報 2010

市立八幡浜総合病院



## 巻頭言

今年も市立八幡浜総合病院年報を第5版として皆様にお届けすることができました。このことは、当院にとりまして意義深いことでもあります。

さて、2011年3月11日、未曾有の東日本大震災が東北地方を襲い、被災された多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。原子力発電所の近くに位置する当院も、愛媛県からの要請に応じて、4月、5月と医療救護班2班を宮城県石巻市北上地区に派遣いたしました。また、DMATを1チーム結成し、現在装備を整えています。この間に学ばせていただいたことを、大洲・八幡浜地域における災害拠点病院として、地域住民の安全を守るために活かせるように努めます。

当院は、八西（八幡浜・西宇和）地域唯一の2次救急病院ですが、水曜日と土曜日の救急受け入れを休止していました。本年は、水曜日は再開することができましたが、現在も医師不足のなか土曜日は再開するに至らず、地域住民には不便をかけています。近い将来には、再開できることを願っています。

そのような中で、当院の医療スタッフができる限りの診療、学術発表等を行い、本年度の年報を作成することができました。より多くの医療スタッフが集まる病院となり、地域住民が安心して過ごせる街となることを願って巻頭の挨拶といたします。

市立八幡浜総合病院

院長 上村 重喜

# 目次

巻頭言	1
目次	2
内科	3
糖尿病内科	5
循環器内科	10
小児科	13
外科	15
整形外科	17
脳神経外科	19
皮膚科	21
泌尿器科	23
産婦人科	26
眼科	28
耳鼻咽喉科	29
歯科口腔外科	30
麻酔科	32
薬局	34
放射線室	36
臨床病理科	38
リハビリテーション室	40
栄養療法科	42
医療機器管理室	44
看護部	46
人間ドック室	50
医事係	52
医療情報管理室	55
地域医療連携室	58
病院の行事等	61

# 内科

## 1 概要

2008 年より内科医師数の減少に伴い、通常診療(一般内科・救急医療)維持のために専門領域を縮小し対応していましたが、2010 年より内科医師が 1 人増員となり 2 次救急対応も週 5 日から 6 日、外来新患も週 3 日を再開しています。

## 2 スタッフ紹介

### (1) 医師

仙波尊教

資格：日本内科学会認定内科医

所属学会：日本内科学会、日本感染症学会、日本血液学会、日本リウマチ学会、日本プライマリーケア連合学会

長谷部晋士

資格：日本内科学会認定内科医、ICD 協議会認定 ICD

所属学会：日本内科学会、日本感染症学会、日本東洋医学会、日本糖尿病学会、日本プライマリーケア連合学会

二宮大輔

所属学会：日本内科学会、日本糖尿病学会、日本プライマリーケア連合学会

酒井武則

資格：日本内科学会総合内科専門医、認定内科医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、愛媛大学医学部非常勤講師、日本病態栄養学会評議員、日本糖尿病学会指導医・専門医、NST コーディネーター

所属学会：日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会、日本超音波学会、日本糖尿病学会、日本内分泌学会、日本病態栄養学会、日本プライマリーケア連合学会、日本糖尿病情報学会

上村重喜

資格：日本内科学会総合内科専門医、認定内科医、日本循環器学会専門医、日本高血圧学会指導

所属学会：日本内科学会、日本循環器学会、日本高血圧学会、日本不整脈学会、日本心血管インターベンション学会、日本心臓リハビリテーション学会、日本心臓病学会

### (2) 研修医

飯森宏仁

### 3 学術活動

#### (1) 学会・研究会発表

第 103 回日本内科学会四国地方会 (2010 年 11 月 7 日 松山市)

クエチアピンにより糖尿病を発症した 1 例

飯森宏仁、二宮大輔、長谷部晋士、仙波尊教、酒井武則

糖尿病ケトーシスに急性壊死性食道炎を併発した 1 例

二宮大輔、長谷部晋士、仙波尊教、酒井武則

# 糖尿病内科

## 1 概要

昭和39年に元院長の吉田良一先生が全国に先駆けて糖尿病教室を開設されて以来40年という歴史のある糖尿病診療を行っています。眼科・泌尿器科（透析）・循環器内科（PCI）・脳神経外科と連携し、当院のみで糖尿病に関する合併症も含めた診療が完結できるよう体制を整えています。平成20年より内科医師数の減少に伴い、通常診療（一般内科・救急医療）維持のために約半数の患者様の病診連携を開始し、地域で糖尿病診療を行う体制（八幡浜DM連携サークル）の整備をすすめています。

糖尿病教育に関しては、糖尿病療養指導士を中心として管理栄養士・看護師・薬剤師・検査技師・理学療法士によるチーム医療を行っています。また、外来指導と個別指導に重点をおいた特徴のある療養指導に取り組むとともに、平成20年12月よりフットケア外来を開始しました。さらに、各種研修会を開催し、当該医療圏での糖尿病診療・療養指導のレベルアップのためECDEが中心となり多くの院外活動（八幡浜大洲糖尿病チーム医療研修会、出張糖尿病教室など）も行っています。

## 2 スタッフ紹介

### （1） 医師

酒井武則

資格：日本糖尿病学会指導医・専門医、愛媛大学医学部非常勤講師、愛媛糖尿病対策推進会議実施委員会委員、糖尿病協会愛媛支部理事、日本病態栄養学会評議員、NSTコーディネーター

所属学会：日本糖尿病学会、日本内分泌学会、日本病態栄養学会

長谷部晋士

所属学会：日本糖尿病学会

二宮大輔

所属学会：日本糖尿病学会

### （2） 愛媛糖尿病療養指導士

此上保美、谷本千鶴子、木戸美江子、薬剤師神江利、宮本和典、二宮三枝子、吉川るり子、岡崎千鶴、竹本眞由美、二宮香津子、井上貴美子

### （3） 愛媛県糖尿病看護実践に強い看護師育成研修会修了者

木戸美江子、二宮香津子

## 3 診療実績

### （1） 糖尿病外来：週2日（患者数約800人）

外来インスリン導入（パス）：月約5例

### （2） 糖尿病教育・コントロール入院：月10～20人

(3) 糖尿病教育指導

外来糖尿病教室：月約 10～20 人（初期教育コース・追加教育コース・特別コース）

外来療養指導：月約 80～100 人

フットケア外来：月約 10～20 例

教育入院：月約 1～3 人（1 週コース・2 週コース）

4 学術活動

(1) 学会・研究会発表

① 全国学会

第 53 回日本糖尿病学会年次学術集会（2010. 5. 27-29、岡山市）

八西地域における地域医療崩壊と糖尿病病診連携（第 2 報）

酒井武則、長谷部晋士、他

愛媛 DM 連携 CIRCLE による県全域における糖尿病地域連携活動 第 4 報

古川慎哉、酒井武則、他

糖尿病外来診療における若年非アルコール性脂肪肝炎の囲い込み

三宅映己、酒井武則、他

第 14 回日本病態栄養学会年次学術集会（2011. 1. 15-16、横浜市）

肝機能検査異常を伴わない検診受診者における脂肪肝（NAFLD）の拾い上げ

三宅映己、酒井武則、他

② 地方会

日本糖尿病学会中国四国地方会第 48 回総会（2010. 10. 29-30、松山市）

カーボカウント（CC）法を用いた栄養指導が有用であった 1 例

薬師神江利、大家こず恵、井上貴美子、酒井武則、長谷部晋士、二宮大輔

出張糖尿病教室の試み—その効果について—

井上貴美子、薬師神江利、大家こず恵、二宮大輔、長谷部晋士、酒井武則、浅田耕造

高齢インスリン治療患者の実態調査

西山伸吾、竹本眞由美、岡崎千鶴、酒井武則、他

生活支援により在宅でのインスリン加療を継続中の認知症状合併高齢者の 2 例

吉川るり子、二宮香津子、木戸美江子、岡崎千鶴、竹本眞由美、谷本千鶴子、此上保美、

二宮大輔、長谷部晋士、酒井武則

インスリングルリジンからアスパルトへの変更でコントロールが改善した 1 型糖尿病の 1 例

飯森宏仁、二宮大輔、長谷部晋士、酒井武則

八西地域の糖尿病病診連携の現状と脱落例の検討

酒井武則、二宮大輔、長谷部晋士、他

インスリン分泌刺激薬から DPPIV 阻害薬への切り替えの検討

二宮大輔、長谷部晋士、酒井武則

高齢糖尿病に関する医療者の認識度調査

尾上夏恵、酒井武則、他

当院におけるインスリン注射遵守状況の調査と対策

宮本和典、菊池均、田村静香、二宮一也、酒井武則、長谷部晋士、二宮大輔、谷本千鶴子、此上保美

継続した外来インスリン療養指導の現状

此上保美、二宮香津子、木戸美江子、岡崎千鶴、竹本眞由美、吉川るり子、谷本千鶴子、二宮大輔、長谷部晋士、酒井武則

当院におけるクリニカルパスを用いた外来インスリン導入の現状

二宮香津子、木戸美江子、岡崎千鶴、竹本眞由美、吉川るり子、谷本千鶴子、此上保美、二宮大輔、長谷部晋士、酒井武則

インスリン注射と SMBG に関するインシデントについて

木戸美江子、二宮香津子、岡崎千鶴、竹本眞由美、吉川るり子、谷本千鶴子、此上保美、二宮大輔、長谷部晋士、酒井武則

当地域における高齢糖尿病患者の実態調査

竹本眞由美、二宮香津子、木戸美江子、岡崎千鶴、吉川るり子、谷本千鶴子、此上保美、二宮大輔、長谷部晋士、酒井武則

第 103 回日本内科学会四国地方会（2010 年 11 月 7 日 松山市）

クエチアピンにより糖尿病を発症した 1 例

飯森宏仁、二宮大輔、長谷部晋士、仙波尊教、酒井武則

糖尿病ケトーシスに急性壊死性食道炎を併発した 1 例

二宮大輔、長谷部晋士、仙波尊教、酒井武則

### ③ 研究会

第 11 回八幡浜 DM 連携 Circle（2010. 6. 14 八幡浜市）

HbA1c 値についての注意点

田中亜夜

クエチアピンによる薬剤性糖尿病を発症した 1 例

飯森宏仁、二宮大輔、長谷部晋士、仙波尊教、酒井武則

肺血症を合併した 1 型糖尿病ケトーシスの 1 例

長谷部晋士

第 17 回八幡浜大洲糖尿病チーム医療研修会（2010. 6. 17 八幡浜市）

当院における高齢インスリン使用患者の実態

吉川るり子

第 33 回八幡浜・大洲・消化器・糖尿病・内分泌疾患研究会（2010. 9. 29 八幡浜市）



糖尿病性ケトosisに急性壊死性食道炎を併発した1例

二宮大輔、長谷部晋士、仙波尊教、酒井武則

第6回愛媛軽症糖尿病懇話会（2010.11.2、松山市）

八西地区における糖尿病病診連携の現状

酒井武則、仙波尊教、長谷部晋士、二宮大輔、上村重喜

糖尿病治療の新展開（2011.2.17、松山市）

症例検討「DPP-IV阻害剤の適応について」

酒井武則

第19回八幡浜大洲糖尿病チーム医療研修会（2011.2.24 八幡浜市）

当院におけるインスリン注射遵守状況の調査と対策

宮本和典

当院におけるクリニカルパスを用いた外来インスリン導入の現状

岡崎千鶴

ナイトホスピタルの報告

竹本眞由美

## （2） 講演・司会・座長

### ① 講演

脂肪酸代謝と炎症フォーラム2010（2010.7.29 松山市）

糖尿病診療における脂質管理の実態と問題点 酒井武則

EPAラウンドミーティング（2010.9.10 松山市）

血管障害の残された危険因子の管理 酒井武則

第12回八幡浜DM連携Circle（2010.9.29 八幡浜市）

糖尿病と脂質異常症 酒井武則

第350回愛媛県病院薬剤師会南予支部薬学セミナー（2011.1.22 八幡浜市）

糖尿病治療におけるインクレチン製剤の位置づけ 酒井武則

第8回糖尿病医療連携フォーラム（2011.2.10、松山市）

八西地域における糖尿病医療連携の現状について 酒井武則

第5回大洲DM連携サークル（2011.2.25 大洲市）

最近の糖尿病治療 酒井武則

糖尿病医療連携フォーラム（2011.3.5 松山市）

市立八幡浜病院における病診連携の実際 吉川るり子

エクア発売記念学術講演会（2011.3.11 八幡浜市）

エクア錠の使用経験から 酒井武則

### ② 司会・座長

日本糖尿病学会中国四国地方会第48回総会（2010.10.29-30、松山市）

一般演題 座長：酒井武則

第30回愛媛内分泌代謝疾患懇話会（2010.7.16 松山市）

一般演題 座長：酒井武則

インスリン学術講演会 Treat to Target（2010.10.22 松山市）

症例検討 座長：酒井武則

糖尿病医療連携フォーラム（2011.3.5 松山市）

パネルディスカッション 座長：酒井武則 など他多数

③ 主催

第17回八幡浜大洲糖尿病チーム医療研修会（2010.6.17 八幡浜市）

第19回八幡浜大洲糖尿病チーム医療研修会（2011.2.24 八幡浜市）

第33回八幡浜・大洲・消化器・糖尿病・内分泌研究会（2010.9.29 八幡浜市）

第11回八幡浜DM連携Circle（2010.6.14 八幡浜市）

第12回八幡浜DM連携Circle（2010.9.29 八幡浜市）

第13回八幡浜DM連携Circle（2010.12.13 八幡浜市）

第14回八幡浜DM連携Circle（2011.3.11 八幡浜市）

# 循環器内科

## 1 概要

循環器内科は、急性心筋梗塞を含めた急性冠症候群に対する緊急の血管内治療や、不整脈に対する緊急ペーシングなどに24時間体制で対応しています。心臓だけでなく、末梢動静脈に対するインターベンション、カテーテルアブレーションも施行しております。

地域の開業医との連携を強めるために地域連携懇話会を開いており、出席してもらっています開業医の先生方に感謝するとともに、さらに多くの医師に参加していただけるように努力しています。

## 2 スタッフ紹介

### (1) 医師

上村重喜 副院長

資格：日本循環器学会専門医、日本高血圧学会指導医、日本内科学会指導医・総合内科専門医・認定内科医、日本医師会認定産業医

所属学会：日本内科学会、日本循環器学会、日本高血圧学会、日本不整脈学会、日本心血管インターベンション学会、日本心臓リハビリテーション学会、日本心臓病学会

鈴木誠 愛媛大学地域救急医療学講座准教授

資格：日本心血管インターベンション学会指導医、日本循環器学会専門医、日本心臓病学会正会員（FJCC）、日本高血圧学会専門医、日本内科学会認定内科医、日本老年病学会専門医、日本医師会認定産業医、医師臨床研修指導医

所属学会：日本心血管インターベンション学会、日本心臓病学会、アメリカ心臓病学会、ヨーロッパ心臓病学会、日本内科学会、日本循環器学会、日本老年病学会、日本高血圧学会

榎本大次郎 愛媛大学地域救急医療学講座助教

資格：日本内科学会認定内科医

所属学会：日本内科学会、日本腎臓学会、日本循環器学会、日本高血圧学会、日本老年医学会

## 3 平成22年度専門的診断術及び実績

心エコー	3,128 例
経食道心エコー	11 例
頸部エコー	504 例
下肢エコー	407 例
マスター負荷心電図	35 例
トレッドミル負荷試験	8 例

心筋シンチ	163 例
心臓MR I	18 例
心臓カテーテル検査	213 例
その中で経皮的冠動脈形成術 (PCI) は	100 例
末梢動脈・静脈に対するカテーテル治療	11 例
(下大静脈フィルター留置術含む)	
心臓電気生理学的検査及びペースメーカ治療	
恒久式ペースメーカ植え込み	37 例
(ジェネレータ交換含む)	
不整脈に対するカテーテルアブレーション	0 例

#### 4 学術活動

##### (1) 原著論文

1、 Percutaneous coronary intervention of chronic total occlusion in a left anterior descending coronary artery using an ipsilateral intraseptal bridging collateral tracking technique.

Suzuki M、 Takagi Y、 Tsuchikane E.

Catheter Cardiovasc Interv 2010 ; 76 (4) : 536-40

2、 Association of coronary inflammation and angiotensin II with impaired microvascular reperfusion in patients with ST-segment elevation myocardial infarction.

Suzuki M、 Shimizu H、 Miyoshi A、 Takagi Y、 Sato S、 Nakamura Y.

Int J Cardiology 2011 ; 146 : 254-6

##### (2) 総説

1、「心不全における利尿薬の使い方」

鈴木誠、 檜垣實男

Circulation up-to-date 2011 ; 6 : 55-62

##### (3) 講演

三崎地区循環器クリニカルカンファレンスセミナー (2010. 10. 12)

「ワーファリンはこわくない」 鈴木誠

三崎地区循環器疾患 up to date 講演 (2010. 10. 18)

「難治性高血圧」 鈴木誠

八幡浜市医師会学術講演会 (2010. 10. 19)

「循環器救急のツボ」 鈴木誠

第 55 回南予循環器懇話会 (2010. 10. 20)

「致死性 ACS についての見解」 鈴木誠

第 37 回三崎地区勉強会 (2010. 11. 10)

「ハイリスクと思われる虚血性心疾患患者の鑑別について」 鈴木誠

駄馬地区健康教室 (2010. 12. 14)

「動脈硬化ってなんだろう」 鈴木誠

愛媛県臨床検査技師会生理検査研修会 (2011. 3. 26)

「生理検査に役立つ身体所見の診かた、取り方」 榎本大次郎

# 小児科

## 1 外来診療日程

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	一般外来 (鈴木)	一般外来 (城賀本)	一般外来 (宮脇)	一般外来 (城賀本)	一般外来 (鈴木)
午後	一般外来 (城賀本／宮脇)	慢性疾患 予防接種 (鈴木)	乳児健診 (城賀本) 予防接種／ 一般外来 (宮脇)	一般外来 (宮脇)	循環器外来 (高田) 一般外来 (城賀本)

※ 火曜日午後は、小児神経外来を併設

※ 水曜日午後は、一般外来を併設

※ 毎月第1、3金曜日午後は、小児循環器外来（高田医師）を併設

※ 毎月第1木曜日午前は、小児神経外来（福田医師による）も併設

※ 毎月第3金曜日午後は、小児循環器外来（檜垣医師による）も併設

## 2 スタッフ紹介

### (1) 医師

#### ① 常勤

城賀本敏宏（じょがもととしひろ）：医員（専門：小児科一般）

平成18年 長崎大学医学部卒業

所属学会：日本小児科学会、日本小児神経学会

宮脇零士（みやわきれいじ）：医員（専門：小児科一般）

平成20年 帝京大学医学部卒業

所属学会：日本小児科学会

#### ② 非常勤

鈴木 由香（すずきゆか）：愛媛大学医学部地域救急医療学講座 准教授、科長兼任（専門：小児科一般、小児神経）

平成5年 金沢大学医学部卒業

資格：日本小児科学会専門医、日本小児神経学会専門医、日本てんかん学会認定医・臨床専門医

所属学会：日本小児科学会、日本小児神経学会、日本てんかん学会、日本東洋医学学会、日本感染症学会、日本小児呼吸器学会

高田 秀美（たかだ ひでみ）：愛媛大学医学部小児科学 助教

平成 10 年 愛媛大学医学部卒業

資格：日本小児科学会専門医

所属学会：日本小児科学会、日本小児循環器病学会、日本周産期・新生児学会

### 3 統計

#### (1) 入院患者数

年度	人数
平成 20 年	360 人
平成 21 年	387 人
平成 22 年	339 人

#### (2) 外来患者数

平成 22 年度 6,831 人

### 4 科の特徴

小児科は、午前中は一般診療を行い、午後は、火曜日には慢性外来、神経外来、水曜日は発達外来と乳児健診、金曜日は隔週で循環器外来を行っております。火曜日の午後のみ、一般診療をお断りし予約患者様のみに対応をしています。

現在 3 名の体制で運営しており、うち小児科医としての研鑽を積んでいる先生方が主軸となって日常の診療を行っております。小児科医として未熟なところもあるやもしれませんが、診療に対して真摯に熱意をもって取り組んでいます。

当院は二次医療圏八西地区唯一の小児入院病棟を有する小児科専門医の勤務する病院です。そのため、一次医療圏の医院や診療所からの紹介入院患者に対応することが主な仕事になります。昨今の少子化により医療圏内の小児人口は激減していますが、病気は減っておらず、地域で二次医療圏入院施設としての機能を果たすことが重要と考えています。特に近隣の診療所や医院と連携し、スムーズな医療が実施できることを念頭に診療に従事しております。

### 5 学術活動

#### (1) 学会発表、研究会発表

第 43 回 日本小児呼吸器疾患学会 2010 年 10 月、福岡

愛媛県西予地域での RS ウイルス流行状況と保育所の現状や感染症対策

城賀本敏宏、宮脇零士、小泉宗光、小西恭子、廣井一浩、鈴木由香

第 82 回 日本小児科学会愛媛地方会、2010 年 11 月、松山

マイコプラズマ迅速検査の有用性について

宮脇零士、城賀本敏宏、鈴木由香

第 2 回 愛媛小児内分泌代謝勉強会、2010 年 11 月、松山

甲状腺関連自己抗体陰性の甲状腺機能亢進症の一例

城賀本敏宏、宮脇零士、鈴木由香

# 外科

## 1 スタッフ紹介

### (1) 医師

國吉 巖 : 副院長 昭和 45 年 山口大学医学部卒業  
昭和 53 年 当院赴任

所属学会 : 日本外科学会、日本消化器外科学会、日本臨床外科学会、日本大腸肛門病学会

的場 勝弘 : 科長 平成 8 年 山口大学医学部卒業  
平成 19 年 4 月 当院赴任

所属学会 : 日本消化器外科学会専門医、消化器がん外科治療認定医、日本外科学会専門医、日本がん治療認定医機構 暫定教育医、日本臨床外科学会、日本癌治療学会、日本内視鏡外科学会

蘓村 秀明 : 医長 平成 11 年 山口大学医学部卒業  
平成 20 年 2 月 当院赴任

所属学会 : 日本外科学会専門医、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、日本消化器外科学会、日本消化器病学会、日本臨床外科学会、日本癌治療学会、日本内視鏡外科学会

来嶋 大樹 : 医員 平成 18 年 佐賀大学医学部卒業  
平成 22 年 4 月 当院赴任

所属学会 : 日本外科学会、日本消化器外科学会、日本臨床外科学会、日本癌治療学会

## 2 科の特徴

当院外科は消化器外科と一般外科(乳腺等)を専門としており、山口大学第二外科(現:消化器・腫瘍外科)から40年以上途切れることなく医局員が派遣されています。

平成22年の手術症例は332例(うち全身麻酔147例)でした。手術術式に関しては、手術適応を判断しながら腹腔鏡を用いた低侵襲手術などに取り組んでいます。

当科においては内視鏡検査(胃内視鏡・大腸内視鏡など)にも積極的に取り組み、診断から治療まで一貫して行っています。化学療法に関しては胃癌、大腸癌治療ガイドライン等を参考にしながら、大学病院または都会の市中病院と同等な治療ができるよう心がけています。

日本外科学会、日本消化器外科学会、日本臨床外科学会等に所属し、活発な学会発表を行いながら、日進月歩の知識・技術の習得に努め、患者様第一と考え、4人一丸となって地域医療に邁進しています。

## 3 平成22年の手術症例

胃癌 16例



結腸癌	18 例
直腸癌	4 例
腸閉塞の手術	3 例
肝癌	1 例
鼠径ヘルニア等（脊椎麻酔）	32 例
痔核・痔ろう手術	67 例
乳癌	6 例
胆石胆嚢炎	23 例（うち 16 例は腹腔鏡下手術）
総胆管結石	5 例
虫垂炎	18 例（うち 4 例は腹腔鏡下手術）
気胸（胸腔鏡下手術）	4 例
その他の全身麻酔	39 例
その他の脊椎麻酔・局所麻酔手術	86 例

#### 4 学術活動

##### (1) 学会・研究会発表

第 65 回 日本消化器外科学会総会（2010 年 7 月）

「腹腔鏡下虫垂切除術施行後に判明した虫垂癌の 1 例」

的場勝弘, 蘓村秀明, 松井洋人, 国吉巖

第 65 回 日本消化器外科学会総会（2010 年 7 月）

「選択的動脈内カルシウム注入法（ASVS）でのみ局在診断可能であったインスリノーマの一例」

蘓村秀明, 松井洋人, 酒井武則, 的場勝弘, 国 巖

第 65 回 日本消化器外科学会総会（2010 年 7 月）

「大動脈弁置換術後の患者に発症したメッケル憩室出血の 1 手術例」

松井洋人, 新藤芳太郎, 蘓村秀明, 的場勝弘, 国吉巖

第 23 回 愛媛外科手術侵襲研究会（2010 年 11 月）

「大網裂孔ヘルニアによる絞扼性イレウスの 1 手術例」

来嶋大樹, 蘓村秀明, 的場勝弘, 国吉巖

# 整形外科

## 1 スタッフ紹介

### (1) 医師

院長：久保 敬（くぼ たかし）

出身大学：広島大学（昭和 46 年卒）

資格：日本整形外科学会専門医、医学博士

専門分野：手の外科、整形外科一般

所属学会：日本整形外科学会、日本手の外科学会、中部日本整形災害外科学会評議員 他

科長：堀田 恵司（ほりた けいじ）

出身大学：広島大学（昭和 56 年卒）

資格：日本整形外科学会専門医、医学博士

専門分野：膝関節外科、整形外科一般

所属学会：日本整形外科学会、日本膝関節学会、中部日本整形災害外科学会評議員 他

医長：温泉川 一喜（ゆのかわ かずき）

出身大学：愛媛大学（平成 13 年卒）

資格：日本整形外科学会専門医

専門分野：整形外科一般

所属学会：日本整形外科学会、中部日本整形災害外科学会 他

医員：須賀 紀文（すが のりふみ）

出身大学：金沢医科大学（平成 17 年卒）

専門分野：整形外科一般

所属学会：日本整形外科学会、中部日本整形災害外科学会 他

医員：白石 勝範（しらいし かつのり）

出身大学：岩手医科大学（平成 18 年卒）

資格：日本整形外科学会専門医

専門分野：整形外科一般

所属学会：日本整形外科学会、中部日本整形災害外科学会 他

## 2 科の紹介

現在、整形外科医 5 人体制で外来・病棟診察、救急診療、手術を行っています。外傷による四肢

骨折・脱臼、靭帯損傷などの急性疾患、変形性関節症、関節リウマチ、脊椎脊髄疾患といった慢性疾患など、運動器疾患全般を診療しています。八幡浜という地域性から、概して高齢者の大腿骨近位部骨折や橈骨遠位端骨折、脊椎圧迫骨折などの骨粗鬆症による症例が多い傾向にあるようです。また若年者に対しても、先天性股関節脱臼検診やスポーツ外傷・障害の治療にも積極的に取り組んでいます。疾患部位としては、手の外科・膝関節外科を中心に診察していますが、当科で対応可能であれば特に制限を設けることなくすべて受け入れる所存です。日本整形外科学会、中部日本整形災害外科学会等種々の学会に所属し、積極的に学会参加し研鑽を積みながら知識・技術の向上に努め、地域に根ざした医療を今後も行っていく予定です。

### 3 手術件数（平成 22 年度）

#### （1） 総数

453 件

#### （2） 内訳

骨折観血的手術	106 件
創傷処理	69 件
骨折非観血的整復術	38 件
鋼線等による直達牽引	31 件
腱鞘切開術	30 件
関節脱臼非観血的整復術	22 件
人工骨頭挿入術	22 件
骨内異物（挿入物）除去術	21 件
皮膚切開術	12 件 など

### 4 学術活動

なし

# 脳神経外科

## 1 概要

脳神経外科は八幡浜市・伊方町・西予市の一部の脳神経外科疾患（救急、慢性疾患を問わず）を担当し、可能な限り地域完結医療を目指して対応しています。当地域において標準的医療を施行することを目標としており、平成 22 年 4 月から脳梗塞超急性期患者に対して t-PA による血栓溶解療法も開始いたしました。

## 2 スタッフ紹介

### (1) 医師

河内正人

昭和 55 年 熊本大学医学部医学科卒業

平成 6 年 医学博士（熊本大学；乙博医第 665 号）

平成 22 年 4 月 市立八幡浜総合病院脳神経外科着任

資格：日本脳神経外科学会専門医

所属学会：日本脳神経外科学会、日本脳卒中学会、日本癌治療学会

## 3 統計

### (1) 手術

#### a) 開頭手術

脳動脈瘤頸部クリッピング	11 例
脳内血腫	6 例
急性硬膜下血腫	9 例
急性硬膜外血腫	1 例
海綿状血管種摘出	1 例
術後血腫	1 例
試験開頭	1 例
頭蓋形成術	1 例

#### b) 穿頭手術

慢性硬膜下血腫	9 例
定位的血腫除去	4 例
脳内血腫	1 例
脳室ドレナージ	3 例

#### c) シヤント手術

VP シヤント	1 例
LP シヤント	4 例

シャント再建	1 例
d) 血管内手術	
頸動脈ステント留置	1 例
e) その他	4 例
合計	61 例

(2) 梗塞超急性期に対する t-PA による血栓溶解療法 7 例

#### 4 学術活動

なし

# 皮膚科

## 1 概要

南予では、公的病院・診療所の数は少なくありませんが、皮膚科の常勤医がいる病院は極めて少数です。その上皮膚科専門医は都市部に集中する傾向があります。そのため郡部では早期受診、診断確定の機会を失い、病状が進んで来院される患者様が少なくありません。当科ではこれらを踏まえ、いわゆる「西予」地区における、ただひとつの常設皮膚科のある病院としての役割を果たし、この地域の患者様が専門的な診断や治療が受けられるようサポートを行っていきたいと考えております。

## 2 スタッフ紹介

### (1) 医師

#### ① 常勤

松田光司

昭和 51 年 鹿児島大学医学部卒業

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医

医学博士

#### ② 非常勤

戸澤麻美

平成 13 年 愛媛大学医学部卒業

日本形成外科学会専門医

## 3 診療内容

### (1) 皮膚科診療について

皮膚科一般を対象とするが、難治性疾患や広範囲、複雑な部位の皮膚癌については、愛大皮膚科、形成外科と連携し対応しています。

### (2) 形成外来について

毎月第 4 水曜日の午後に、愛大形成外科医による診察と外来手術を行っています。完全予約制ですので、前もって一度皮膚科を受診し、予約を取ってください。また愛大医師の都合により日時が変更になる場合があります。

### (3) 褥瘡（とこずれ）について

急速に進む高齢化社会の中で、寝たきり状態の問題が最近クローズアップされてきております。八西地区は他の市町村に比べて高齢者の割合が多いため、長期臥床に伴って発生する褥瘡の患者様の増加が当然予想される状況です。当院では、これに対応するため、平成 14 年春に褥瘡対策委員会を設置しました。医師、看護師、栄養士を中心としたスタッフが連携を取りながら、エアマットやクッションの選定、スキンケア、栄養管理、治療方針の決定な

ど定期的に協議を行っております。各病棟に配属された、褥瘡のエキスパートナースが中心となり、入院時すでに褥瘡ができていた患者様だけでなく、褥瘡ができる可能性がある患者様に対しても、予防的対応を行っております。皮膚科もこのチーム医療の一員として、患者様のアメニティの向上にお役に立ちたいと考えております。

#### 4 学術活動

なし

# 泌尿器科

## 1 概要

泌尿器科の基本的運営方針は“患者様の満足度を第一に、大学病院の医療を地元で”です。ほぼすべての泌尿器科疾患の診断と手術・治療を、地元で完結できるスタッフと設備を整えてまいりました。現在では、愛媛大学からの応援医師の派遣もあり、放射線治療を除いては、当科医師のほうから他院への転院をお願いするケースはほぼなくなりました。

特に、尿路結石症の治療には絶対の自信があります。体外衝撃波結石破碎装置は県内最新鋭機であり、また平成 22 年に導入したホルミウムヤグレザー発生装置を使った内視鏡的結石砕石術との併用で、すべての部位の結石に対応可能であり、他のどの施設にも負けない治療成績であると自負いたしております。併用療法は、県内では愛媛大学病院と当院でのみ施行可能です。(治療成績は第 27 回愛媛県泌尿器科医会にて報告。)

また平成 22 年からは、愛媛県内ではどこも行っていないホルミウムヤグレザー発生装置を使った前立腺肥大症の内視鏡手術を始めました。この治療法は大都市部の大学病院を中心に広まってきており、大きな前立腺肥大症治療において、従来法に比べ有効性も安全性も高いとされております。当院では関西から著名医師を招いて、技術の習得に努めております。

同じく平成 22 年からは、愛媛大学の西田智保先生の協力を得て、女性泌尿器科手術にも力を入れております。腹圧性尿失禁や膀胱脱、子宮脱、直腸脱に対して、経膈的に（おなかを切らずに）メッシュ素材を埋め込んで補強することで治療する TOT 法、TVM 法などの新しい治療法を導入し、近隣の婦人科の先生からのご紹介もいただき、好評をいただいております。

さらに当科では、腎臓癌・膀胱癌・前立腺癌等の根治手術など、難易度の高いいわゆる“大きな手術”も積極的に行っております。これらの泌尿器科手術については、日本泌尿器科学会が定める標準手術件数を毎年上回っており、同学会から愛媛県内で 11 施設しかない基幹教育施設の指定をいただいております。(南予地区では当院と市立宇和島病院のみ)

このように、愛媛大学などの協力も得て、田舎にいても常に最新の医療をお届けできるような環境整備に、日々努力いたしております。

また当科では、透析部門も担当しており、平成 22 年末現在 65 名の患者様に血液透析または腹膜透析を行っております。さらに適応のある透析患者様には、積極的に腎臓移植手術を御紹介いたしております。日本透析医学会の教育関連施設の認定をいただいております。(血液透析病床数 23 床)



## 2 スタッフ紹介

### (1) 医師

武田 肇 (たけだ はじめ)	副院長	前 愛媛大学医学部附属病院 講師 医学博士 日本泌尿器科学会 専門医・指導医・西日本評議員 日本透析医学会 専門医・指導医
柳垣 孝広 (やながき たかひろ)	医長	前 香川県済生会病院泌尿器科 医長 日本泌尿器科学会 専門医・指導医 日本透析医学会 専門医

## 3 手術実績(学会統計に従い 2010.01.01.-2010.12.31)

### (1) 副腎・腎臓・尿管

根治的腎摘出術(腎癌)	1件
根治的腎尿管全摘術(腎盂・尿管癌)	2件
腎盂切石術(腎結石)	1件
経皮的腎のう胞穿刺術(腎のう胞)	1件
経皮的腎瘻造設術(水腎症・尿管閉塞)	4件
経皮的腎生検(ネフローゼほか)	4件
経尿道的レーザー砕石術(腎結石・尿管結石)	9件
腎盂尿管鏡下腎盂尿管生検(腎盂尿管腫瘍疑い)	1件

### (2) 膀胱

膀胱全摘出・回腸導管造設術(膀胱癌)	2件
膀胱全摘出・尿管皮膚瘻造設術(膀胱癌)	1件
経尿道的膀胱腫瘍切除術(膀胱癌)	14件
経尿道的膀胱砕石術(膀胱結石)	5件

### (3) 前立腺・尿道

根治的前立腺全摘術(前立腺癌)	10件
経尿道的前立腺切除術(前立腺肥大症)	19件
経尿道的前立腺レーザー摘除術(前立腺肥大症)	22件
経尿道的前立腺温熱療法(前立腺肥大症)	2件
経尿道的レーザー砕石術(尿道結石)	1件
尿道カルンケル切除術(尿道カルンケル)	1件
女性泌尿器科手術(尿路性器脱・尿失禁など)	14件
経直腸的前立腺生検(前立腺癌疑い)	47件

### (4) 精巣・陰茎

高位精巣摘除術(精巣腫瘍)	1件
精巣摘除術(前立腺癌・精索軸捻転など)	3件
陰囊・精索水腫根治術(陰囊・精索水腫)	2件

包茎手術（完全包茎）	1 件
(5) 透析関連	
内シャント造設術（人工血管をふくむ）	20 件
パーマネント・カテーテル留置術	2 件
CAPD カテーテル留置術など	11 件
シャント P T A など	51 件
(6) その他	2 件
(7) 体外衝撃波結石破碎術（腎・尿管結石）	72 件
合計	326 件

#### 4 透析関連実績（平成 22 年実績）

血液透析患者 最大 57 人

腹膜透析患者 最大 16 人

#### 5 学術活動

##### (1) 学会・研究会発表

第 21 回愛媛人工透析研究会 2010.08.28 松山市

内シャント作成困難例における長期留置型透析用カテーテルの有用性

小田眞平、柳垣孝広、武田肇 ほか

第 44 回四国透析療法研究会 2010.09.26 高知市

透析装置排液ライン付着物除去への取り組み

兵頭崇之、竹本昌吏、宇都宮悠、柳垣孝広、武田 肇

##### (2) 論文発表

鎖肛術後で巨大結腸を有する成人に対する CAPD 導入の一例

柳垣孝広、武田肇、高橋真司、中野吉朗

（日本透析医学会雑誌 43(2):209-213, 2010）

ホルモン抵抗性前立腺癌に対する低用量ドセタキセル+デキサメサゾン療法の検討

柳原豊、武田肇、横山雅好 ほか

（日本泌尿器科学会雑誌 102(1):23-27, 2011）

##### (3) 講演・座長

高齢者の排尿障害 当院で 10 年、今思うこと 地域の医療・介護スタッフの方へ

武田肇（第 4 回八西地区医療懇話会 2010.01.15 八幡浜市）

八幡浜医師会学術講演会での座長ほか多数

武田肇

# 産婦人科

## 1 概要

当院産婦人科においては、妊婦健診・分娩や、子宮癌検診を含む婦人科検診、良性疾患の薬物療法や手術療法などを行っています。

～産科部門～

総合病院で、麻酔科や小児科と迅速な連携をとれるメリットがあるため、中等度のハイリスク妊娠・分娩の管理(帝王切開術を含む)はできるだけ当院で行うことを目標としています。重症のハイリスク妊婦様は、周産期センター(松山)に母体搬送することもあります。

～婦人科部門～

婦人科良性疾患に関しては、簡単な手術は当院で行っています。また、悪性疾患に関しては、悪性の診断が付いた後に初期治療を松山の大学病院やがんセンターに依頼し、状態が落ち着いた後は当院にて継続治療(入院・外来での化学療法)や緩和ケアなども引き続き行えるような連携をとっています。

## 2 スタッフ紹介

### (1) 医師

医長 月岡 美喜

愛媛大学 平成 12 年卒

日本産科婦人科学会専門医

母体保護法指定医

医長 橋本 尚

愛媛大学 平成 15 年卒

日本産科婦人科学会専門医

## 3 2010 年度実績

総分娩数 80 件

自然分娩 54 件

誘発分娩 6 件

急遂分娩(吸引分娩など) 5 件

帝王切開術 14 件 (うち緊急帝王切開術 4 件)

★緊急帝王切開の適応 児頭骨盤不均衡 1 件

妊娠高血圧症候群 1 件

手術予定日以前の陣痛発来 2 件

その他(自宅分娩後救急搬送) 1 件

婦人科手術

腹式子宮全摘術	1 件
膣式子宮全摘術	2 件
付属器切除術	3 件（うち卵巣腫瘍茎捻転 2 件）
子宮筋腫核出術	1 件
子宮外妊娠手術	1 件
子宮内膜搔爬術	1 件
外陰腫瘤摘出術	1 件
その他	17 件
他院よりの外来紹介患者	83 件（うち地域連携室経由 25 件）
他院よりの緊急紹介入院	2 件
子宮外妊娠	1 件
妊婦健診未受診妊婦の陣痛発来	1 件
周産期センターへの母体搬送	3 件
4 学術活動	
なし	

# 眼科

## 1 概要

当科は眼科一般疾患を対象として外来診療を月～水曜日の午前中に行っています。

検査では蛍光眼底造影、眼底写真撮影、超音波検査、角膜形状解析、角膜内皮細胞検査、視野検査などに対応しています。

レーザー治療についてはマルチカラーレーザー、YAG レーザー、SLT レーザーを備えており、糖尿病網膜症・網膜静脈閉塞症などの網膜疾患、緑内障、後発白内障などに対応しています。

## 2 スタッフ紹介

### (1) 医師

依光 明生（よりみつ あきお）

平成 13 年 大阪医科大学卒業

日本眼科学会認定 眼科専門医、日本レーザー医学会認定 レーザー専門医・指導医、日本抗加齢医学会認定 抗加齢医学専門医、日本医師会認定 産業医

所属学会：日本眼科学会・日本眼科手術学会・日本角膜学会・日本眼感染症学会、日本抗加齢医学会・日本レーザー医学会

## 3 学術活動

なし

# 耳鼻咽喉科

## 1 診療科の特徴

当科では手術治療が必要な方を含め、耳鼻咽喉科頭頸部外科領域を広く診療しています。中耳・鼻咽喉の難治性感染症、突発性難聴やメニエール病などの内耳疾患、顔面神経麻痺等を専門にしています。手術の主なものは、中耳、鼻副鼻腔、咽喉頭、頭頸部の炎症性疾患および良性腫瘍、外傷等です。症例によっては、日帰り手術やショートステイ手術も行っています。

また補聴器専門外来を設けています。

## 2 スタッフ紹介

### (1) 医師

佐々木 康

日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医

日本耳鼻咽喉科学会認定補聴器相談医

## 3 2010年度の主な手術

鼓膜形成術	1件
鼓膜チューブ留置術	2件
内視鏡下鼻内副鼻腔手術	13件
粘膜下鼻甲介骨切除術	12件
鼻中隔矯正術	2件
その他鼻科手術	2件
扁桃摘出術	4件
アデノイド切除術	2件
喉頭微細手術	2件
気管切開術	2件
顎下腺摘出術	1件
正中頸嚢胞摘出術	1件

## 4 学術活動

### (1) 学会・研究会発表

第21回愛媛耳鼻咽喉科内視鏡手術研究会 (2010.4.17. 松山市)

「マイクロデブリッターを用いた粘膜下鼻甲介切除術の経験」

佐々木康

# 歯科口腔外科

## 1 概要

歯科口腔外科外来では、口腔外科を主体とする歯科診療を提供しています。埋伏歯の抜歯、口腔内の腫瘍・嚢胞の摘出手術や白板症などの粘膜疾患、癌や骨髄炎、外傷など、広く顎口腔領域に見られる疾患についての診断と治療を行っています。また、舌痛症、口腔乾燥症、顎関節症などの口腔内科的疾患にも対応しています。さらに、心臓病や糖尿病、透析を受けられている方など、全身的な病気をお持ちの方や、体が不自由で一般歯科医院への通院が困難な方への一般歯科治療も行っています。

## 2 スタッフ紹介

### (1) 医師

浜川 裕之 (金曜日午前 担当)

昭和 52 年 大阪大学歯学部卒業

日本口腔外科学会専門医・指導医

所属学会

日本口腔外科学会 (評議員)、日本口腔科学会 (理事・評議員)、日本口腔腫瘍学会 (評議員)、日本口腔インプラント学会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本頭頸部癌学会、日本口腔粘膜学会 (評議員)、日本口腔組織培養学会 (理事)、日本唾液腺学会、日本分子生物学会、American Association for Cancer Research、International Association of Oral and Maxillofacial Surgery、International Congress on Oral Cancer

中城 公一 (水曜日 担当)

平成 5 年 徳島大学歯学部卒業

日本口腔外科学会専門医

所属学会

日本口腔外科学会、日本口腔科学会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本頭頸部癌学会、日本口腔腫瘍学会、日本口腔組織培養学会、American Association for Cancer Research、American Society of Clinical Oncology、Asian Association of Oral and Maxillofacial Surgery

住田 知樹 (月曜日 担当)

平成 6 年 大阪大学歯学部卒業

日本口腔外科学会専門医

所属学会

日本口腔外科学会、日本口腔科学会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本頭頸部癌

学会、日本病理学会、日本口腔腫瘍学会、日本口腔組織培養学会、日本口腔診断学会、  
日本口腔インプラント学会、日本有病者歯科医療学会、日本顎顔面インプラント学会、  
American Association for Cancer Research、Asian Association of Oral and  
Maxillofacial Surgery

### 3 臨床成果

平成 22 年度の外来患者症例の一部を以下に示します。(2010 年 4 月～2011 年 3 月末現在)

埋伏智歯・正中過剰埋伏歯	149 例
粘液嚢胞	9 例
顎関節症	74 例

### 4 学術活動

なし



# 麻酔科

## 1 麻酔科の紹介

越智科長が赴任して6年目の年となりました。

## 2 スタッフ紹介

### (1) 医師

越智元郎

日本麻酔科学会指導医、日本救急医学会指導医、愛媛大学医学部麻酔・蘇生学 非常勤講師、愛媛大学医学部救急医学 非常勤講師

## 3 診療実績

### (1) 麻酔診療

平成22年度の麻酔科管理の手術は340件（前年度282件、以下同様）で、うち295件（255件）が全身麻酔、残りは脊椎麻酔、硬膜外麻酔などでした。診療科別の麻酔科管理症例数は外科149件（138件）、整形外科97件（95件）、脳神経外科39件（0件）、泌尿器科37件（28件）、耳鼻咽喉科11件（18件）、産婦人科3件（2件）などとなっていました。麻酔科管理件数の増加は主には常勤脳神経外科医師の復活によるものです。

### (2) 入院・外来診療

一方、救急患者を中心とする当科のべ入院患者数は1662人（前年度1301人・日）で、1日当たり4.6人（3.6人）でした。新規入院患者数総数は92人（106人）で、平均在院日数は18.5日（11.9人）でした。外来延患者数は82人（123人）でした。

## 4 教育研修

10月～12月の間、初年度研修医1名の麻酔救急研修を受け入れました。救急救命士の研修としては、就業前病院実習を2人（昨年度2人）名に対しの日42（42）日、再教育病院実習を16（13）名に対しの日35（36）日、気管挿管研修を5（4）名に対しの日96（101）回（成功例のみ集計）、実施しました。

## 5 学術活動

### (1) 学会・研究会発表

越智元郎ほか、現場からみた地域自治体病院の救急受け入れ停止。自治体病院学会（10月19日、秋田市）

### (2) 論文発表

越智元郎、市立八幡浜総合病院の二次救急医療の現状（八幡浜市医師会報 第72号 p.12-16, 2010）

### (3) 講演・講義

応急処置：災害医学事始め、愛媛大学医学部1年次講義（7月23日）

心肺蘇生法：愛媛大学医学部 4 年次講義（11 月 16 日）

# 薬局

## 1 概要

薬局は、6名の薬剤師、3名の事務員で構成しています。

薬剤師の任務は、調剤をはじめ医薬品の供給、その他薬事衛生を司ることにより公衆衛生の向上および増進に寄与し、国民の健康な生活の確保に努めることにあります。

薬局の業務は、調剤、製剤、薬品補給、薬品管理、医薬品情報管理、薬剤管理指導などがあります。

(調剤) 処方箋により医薬品を調整して交付します。

(製剤) 市販されていないが、臨床の場で必要な医薬品を製造します。

(薬品補給) 病院内に医薬品の交付、安定供給に努めます。

(薬品管理) 薬品の在庫管理、品質管理、麻薬等の法規制がある薬品の管理をします。

(医薬品情報管理) 医薬品情報の収集・整理・伝達を行います。また、病院内・外からの薬についての問い合わせに答えます。

(薬剤管理指導) 入院患者様へ薬の説明や相談、患者様の薬の履歴を調べて飲み合わせや重複のチェックを行います。

以前の薬剤師業務の大半は外来患者様への薬の調剤でした。院外処方箋発行により、薬剤師の業務は入院患者様を主体とした業務に変わってきました。また、大学薬学部6年制がスタートし、より専門性を要求される時代になってきており、個々の自己研鑽も重要と考えています。

複雑な抗がん剤治療においては、薬剤師による投与量等のチェック、薬局での調整により、患者様により安全、安心な治療を提供したいと頑張っています。

## 2 業務実績

平成22年度の薬局業務集計(総数)

処方箋枚数

外来処方箋 1,233枚

入院処方箋 30,501枚

薬剤管理指導業務 3,840件

## 3 資格

宮本 和典 愛媛地域糖尿病療養指導士

二宮 一也 日本病院薬剤師会生涯研修認定

日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師

## 4 学術活動

(1) 学会・研究会発表

日本糖尿病学会中国四国地方会第48回総会(2010.10.29、松山市)

当院におけるインスリン注射遵守状況の調査と対策

宮本和典

(2) 講演・座長

① 座長（ポスター発表の部）

日本薬学会、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会（2010. 11. 6、米子市）

菊池均

# 放射線室

## 1 概要

放射線室では、“患者様のための検査”を目指し頑張っています。最新鋭の 64 列 CT, 1.5TMRI 等の検査も極力当日に対応しています。

技師も 5 名と少数ではありますが、勉強会も積極的に参加し、高いレベルの検査を保持できるよう頑張っています。

## 2 スタッフ紹介

正職員 放射線技師 5 名

臨時職員 看護師 1 名

## 3 認定

日本放射線技師会認定

シニア放射線技師、 1 名

放射線管理士、 2 名

放射線機器管理士 2 名

医用画像情報管理士 1 名

検査技能検定エックス線 CT 検査 3 級 2 名

臨床実習指導者研修受講済 1 名

乳房撮影講習受講済 2 名

有痛性骨転移の疼痛治療における

塩化ストロンチウム-89 治療安全講習会受講済 1 名

PET 研修セミナー受講済 1 名

## 4 平成 22 年度検査件数

CT 6,842 件

MRI 2,823 件

一般撮影 17,997 件

血管撮影 385 件

透視検査 1,694 件

乳房撮影 631 件

RI 346 件

骨密度 441 件

## 5 学術活動

### (1) 学会・研究会発表

平成 22 年度愛知県放射線技師会南予部会夏季研修会（平成 22 年 7 月 31 日）

Prefilter の最適化 ～Cut off 周波数のセンタリング～ 佐々木大輔

散乱線の分布 ～CT の介助者について～ 山本大地

見逃したくない骨折線 山中万政

平成 22 年度愛媛県放射線技師会南予部会冬季研修会 平成 23 年 3 月 12 日

HD 患者における BMIPP 心筋脂肪酸シンチが有用だった一例 佐々木大輔

第 4 回愛媛県放射線技師会学術大会（平成 23 年 1 月 30 日）

心臓 MRI における T 2 スター強調画像の応用 山本大地

第 34 回南予循環器画像研究会（平成 23 年 3 月 11 日）

たこつぼ型心筋症の 2 例～心電図同期心筋シンチグラフィと心臓 CT の活用～

山本大地

HD 患者における BMIPP 心筋脂肪酸シンチが有用だった一例 佐々木大輔

# 臨床病理科

## 1 概要

臨床病理科では採血、血液検査、生化学免疫検査、細菌検査、輸血検査、病理・細胞検査、生理検査等を行っています。病気の診断や治療に役立つよう、「正確で早く」をモットーに医師や看護師へ情報を提供しています。

他病院にさきがけ始めた早朝検査も 6:00、7:00、8:30 という 3 段階の時間差出勤に進化し、病棟の検体検査については 8:30 までに検査が終了しているという画期的なシステムをとっています。そのために、検査に要する自動分析機も大型の物でなく、中型で小回りの利く経済的な物で対応できるようになりました。また 8:30 から診察される外来患者様の検査も、よりスムーズに進めることができます。遠方よりお越しの方々には、検査結果の説明を受けに何度も足を運ぶことのないよう、特殊な検査以外は当日での対応を心がけています。

今年度は介護休暇者 1 名、病休者 1 名、育児休暇者 1 名と、残されたスタッフには大変な年となりましたが、OB 技師や、クラークの助けも借り、またスタッフの守備範囲拡大とフレキシブルな対応でどうにか乗り切る事ができました。

医療の質が問われる現在、スタッフにはそれぞれ目標を持たせ、レベルアップに努めるため積極的に認定免許を取得すべく日々勉強しております。そして新しい試みに常に前向きに取り組んでいけるアクティブな検査室を目指していきたいと思っています。

## 2 平成 22 年度統計

分類	件数
一般検査	134,452
血液検査	164,064
生化学検査	472,550
血清検査	5,566
病理検査	779
細胞検査	2,124
細菌検査	10,225
生理検査	17,129
合計	659,234

## 3 スタッフ紹介

### 正職員

臨床検査技師 11 名

## 臨時職員

臨床検査技師 2名 准看護師 2名 クラーク 2名

### 4 認定免許

細胞検査士	1名
循環器超音波検査士	2名
腹部超音波検査士	2名
血管領域超音波検査士	1名
消化器内視鏡技師	1名
二級臨床検査士血液	1名
二級臨床検査士循環生理	1名
特定化学物質取扱責任者	1名
糖尿病療養指導士	1名

### 5 学術活動

#### (1) 学会・研究会発表

第4回愛媛消化器超音波カンファレンス（平成23年2月4日、松山市）

「肥厚性幽門筋狭窄症の2症例」

日出山健、山村展央、此上武典、鈴木由香、城賀本敏宏、宮脇零士

#### (2) 講演、座長、司会、企画

愛媛県臨床検査技師会夏季研修会（平成22年8月8日、西条市）

「超音波検査の魅力」 講師

山村展央

第43回中四国臨床検査医学会（平成22年11月6日、高松市）

「下肢静脈エコー」 講演・実習

山村展央

糖尿病療養指導士育成勉強会（平成23年2月17日、八幡浜市）

「糖尿病療指導士認定試験に向けて」 講師

二宮三枝子



# リハビリテーション室

## 1 概要

急性期、亜急性期疾患を中心に他部門と協力し、最適で良質なリハビリテーションを実施しています。また、退院、転院時の際には家族や地域また他施設と連携を図り情報等の提供をしています。

今後は、言語聴覚士等のスタッフの増員を行い、リハビリテーションの質の向上に努めたいと考えております。ご協力の程よろしくお願いたします。

### (1) 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料 (Ⅱ)

運動器リハビリテーション料 (Ⅰ)

呼吸器リハビリテーション料 (Ⅰ)

心大血管疾患リハビリテーション料 (Ⅰ)

### (2) 院内活動

振動病等検査補助業務

筋電図検査

意見書等の身体計測、運動機能評価

糖尿病運動指導

NST

退院時支援業務

各病棟等とのカンファレンス

リハ科内勉強会、症例報告会

臨床実習受け入れ

高知医療学院、愛媛十全医療学院、黒潮医療専門学校、愛媛医療専門大学校、健康科学  
大学

中学校職場体験

### (3) 院外活動

八幡浜市介護保険審査会

伊方町脳卒中再発予防教室

伊方町特定高齢者筋力アップ教室

## 2 スタッフ紹介

医師 1 名 (リハビリテーション科)

理学療法士 5 名 (1 名は呼吸療法士認定あり)

作業療法士 1 名

看護助手 4 名

### 3 統計

脳血管疾患等リハビリテーション料	11341 単位
運動器リハビリテーション料	14696 単位
呼吸器リハビリテーション料	613 単位
心大血管疾患リハビリテーション料	1844 単位
早期加算	13788 件
リハ総合計画評価	537 件
退院時リハ指導	814 件
物理療法	7658 件

### 4. 学術活動

#### (1) 学会・研究会発表

タイトル : 「高齢大動脈弁置換術後の心臓リハビリテーションを経験して」  
発表者 : ○大原生久、上村重喜、宇都宮桂香、吉田綾子、田中美江、山村展央  
会の名称 : 第9回愛媛心臓リハビリテーション研究会  
日時、場所 : 2010.05.22 松山市

タイトル : 「下肢から体幹にかけての機能的評価と治療方法論の考察」  
発表者 : 河野孝春  
会の名称 : エフテックス・インスティテュート  
中国・四国支部勉強会  
日時、場所 : 2011.2.6 東温市

# 栄養療法科

## 1 概要

栄養療法科では、「おいしく食べていただく事」と同時に、食べる事で身体の内面から健康になるよう、患者様の病状に応じて適切な食事を提供し、疾病の治癒促進を図るという役割を担っています。また、様々な病態をもつ患者様に、それぞれの病態や理解度に応じて、日常の食生活を適切なものに改善できるようにアドバイスをを行い、日々患者様の健康回復に貢献できるよう努めています。

管理栄養士が担当病棟をもち、定期的に栄養スクリーニング・ベッドサイド訪問を行い、個々に応じた栄養管理を計画・実施しています。

## 2 スタッフ紹介

病院正職員

管理栄養士 3名

委託職員

管理栄養士 2名、栄養士 2名、調理員 18名

## 3 認定免許

愛媛県糖尿病療養指導士 2名

## 4 平成 22 年度統計

	外来(件)	入院(件)
個人栄養指導	1034	1442
集団栄養指導	103	0
栄養管理加算		73960

※ 出張集団栄養指導(病診連携先の医院にて無料で実施) 8件

※ 実習生の受け入れ 松山東雲短期大学 2名(1週間)・中国学園大学 1名(2週間)

## 5 学術活動

### (1) 学会・研究会発表

日本糖尿病学会中国四国地方会第 48 回総会(平成 22 年 10 月 29 日、松山市)

「出張糖尿病教室の試みーその効果についてー」

井上貴美子、薬師神江利、大家こず恵、二宮大輔、長谷部晋士、酒井武則、浅田耕造

「カーボカウント(CC)法を用いた栄養指導が有用であった一例」

薬師神江利、大家こず恵、井上貴美子、二宮大輔、長谷部晋二、酒井武則

### (2) 論文発表

プラクティス 27(4):421-425, 2010

「糖尿病地域連携における管理栄養士の役割－基幹病院における管理栄養士の役割－」

井上貴美子

(3) 講演、座長、司会、企画

第13回八幡浜DM連携Circle（平成22年12月13日、八幡浜市）

「カーボカウント」 講師

薬師神江利

糖尿病療養指導士育成勉強会（平成23年1月20日、2月17日、八幡浜市）

「食事療法について」 講師

井上貴美子、薬師神江利

# 医療機器管理室

## 1 概要

現在、我々臨床工学技士は人工透析室での慢性維持透析を中心とした血液浄化業務と合わせて、スタッフが安心・安全に医療機器を使用できるよう、日々医療機器保守管理業務に励んでおります。

また、医療機器操作のサポートや安全使用のための情報提供等も行っております。

2010 年度、新たに 1 名増員し、放射線科支援業務（心臓カテーテル、ペースメーカー、内視鏡）を開始しました。

## 2 スタッフ紹介

医療機器管理室室長 山本尚幸副院長（診療支援部長）

臨床工学技士 3 名 計 4 名

## 3 平成 22 年度医療機器保守管理統計

(件)

シリンジポンプ	使用前点検	401
	定期点検・修理	60
輸液ポンプ	使用前点検	3296
	定期点検・修理	254
低圧持続吸引器	使用前点検	31
	定期点検・修理	12
人工呼吸器	使用前点検	71
	定期点検・修理	15
除細動器	定期点検・修理	25
透析関連機器	定期点検・修理	68
輸液・輸血関連	定期点検・修理	3
酸素テント	定期点検・修理	4
保育器	定期点検・修理	12
IABP	定期点検・修理	12
心電計	定期点検・修理	18
麻酔器	定期点検・修理	49
血圧監視装置	定期点検・修理	20
患者監視装置	定期点検・修理	68
医療ガス関連器具	点検・修理	15

アフレスス（延べ件数）

(件)

CHDF	13
DHP	6
その他	2

ME ニュース : 5 号発行

院内勉強会 : 9回実施

4 認定免許

透析技術認定士 1名

3学会合同呼吸療法認定士 1名

アフェレンス認定技士 1名

5 学術活動)

(1) 学会・研究会発表

第44回四国透析療法研究会 (2010.9.26、高知県南国市)

「透析装置排液ライン付着物除去への取り組み」

兵頭崇之、竹本昌吏、宇都宮悠、柳垣孝広、武田肇

# 看護部

## 1 看護部の理念

心は安心 技術は安全 笑顔で看護

## 2 看護部の方針

(1) 私たちは、専門知識・技術をもち、患者様の立場にたった思いやりのある看護を目指します。

(2) 私たちは、地域の皆様に信頼される看護を目指します。

(3) 私たちは、健全な経営に向けて努力します。

## 3 看護部の目標

(1) 患者様と共に、喜びの持てる看護を提供する

(2) 自ら考え行動し、責任を持った看護を提供する

## 4 平成 22 年度看護目標

受け持ち患者に信頼される看護を提供する

## 5 スタッフ紹介（平成 22 年 4 月 1 日現在）

看護師 155 名、助産師 9 名、准看護師 17 名、看護助手 42 名 計 223 名

## 6 認定資格取得状況

認定看護管理者 清水美智子

認定看護師 宮谷理恵（救急看護）

愛媛地域糖尿病療養指導士 7 名

呼吸療法指導士 2 名

## 7 院外研修への派遣

認定看護師教育（皮膚排泄ケア） 1 名

認定看護管理者研修（ファーストレベル教育） 1 名

平成 22 年度愛媛県糖尿病看護実践に強い看護師育成研修会 1 名

保健師・助産師・看護師等実習指導者講習会 1 名

四国ストーリーナビリテーション講習会 1 名

## 8 実習受け入れ

看護教育

帝京第五高等学校

松山城南高校

穴吹医療カレッジ看護学科通信課程

愛媛県看護協会訪問看護実習

その他の受け入れ

中学生職場体験

三崎高校（インターンシップ）

看護力再開発講習

夏季看護師体験（中・高校生）

ふれあい看護体験

9 平成 22 年度院内教育

研修対象	目標	内容	
1年目	1 専門職として責任ある行動をとることができる 2 日常的に行われる基礎看護技術を習得することができる 3 チームナーシングを理解できる	基礎看護技術（口腔ケア・吸引・心電図・呼吸器・移乗・等） 報連相・急変時の対応等	
2レベル	1 対象にとっての行為の意味や影響を考え、意識的に看護実践し評価できる 2 対象の状態に合わせた安全で安楽な看護技術が提供できる 3 チームナーシングのメンバーとして行動がとれる	ケーススタディをとおして看護の振り返り チームナーシングのメンバーの役割 急変時・転倒転落時対応等	
プリセプター	1 プリセプターが自分の役割を理解でき、プリセプティを円滑に受け入れることができる 2 1年間の体験を通し、自己の成長へと繋げることができる	プリセプティープ リアリティショックについて 事例検討	
助手・クラーク	看護チームの中で自分の役割が自覚でき、一貫した看護ケアが実践できる	接遇 急変時の対応 食事介助・寝衣交換・院内感染	
中堅研修	救急	救急処置に関する知識や技術を習得し実践にいかすことができる	急変時の看護 デモンストレーション
	記録	看護が見える記録を書くことができる	事例検討
	看護の基本	研修を通して中堅としての意識を高め看護に活かすことができる	一人ひとりの看護管理 チームナーシング 事例検討
	安全	確認を適切に実施できる	KYT 研修
	感染	標準予防策を徹底し感染対策を適切に遂行できる	スタンダードプリコーション 感染看護認定看護師の取り組み



## 10 行事・専門教室の開催

行事名	開催日	参加者数
第10回ストーマ患者さまの集まり	11月	24名
糖尿病週間行事 ナイトホスピタル	11月	24名
糖尿病教室「たまごコース」		30名
「にわとりコース」		6名
「糖尿病べてらんコース」		18名
ストーマケア外来		42名
フットケア外来		156名
母親学級		35名
ふれあい看護体験	5月	2名
南予 ACLS 研修	平23年2月	7名

## 11 学術活動

八幡浜・大洲糖尿病チーム医療研究会（平成22年6月17日、八幡浜市 リジェール八幡浜）

「当院における高齢インスリン使用患者の実態調査・第2報」

吉川るり子

日本糖尿病学会 中・四国地方会（平成22年10月30日、松山市 ひめぎんホール）

「生活支援より在宅でのインシュリン加療を継続中の認知症状を合併高齢者2例」

吉川るり子

日本糖尿病学会 中・四国地方会（平成22年10月29日、松山市 ひめぎんホール）

「継続した外来インスリン療養指導の現状」

此上保美

日本糖尿病学会 中・四国地方会（平成22年10月30日、松山市 ひめぎんホール）

「インスリン注射とSMBGに関するインシデントについて」

木戸美江子

日本糖尿病学会 中・四国地方会（平成22年10月29日、松山市 ひめぎんホール）

「当地域における高齢糖尿病患者の実態調査」

竹本真由美

日本糖尿病学会 中・四国地方会（平成22年10月29日、松山市 ひめぎんホール）

「当院におけるクリニカルパスを用いた外来インスリン導入の現状」

岡崎千鶴

平成22年度愛媛県糖尿病看護実践に強い看護師育成研修会 フォローアップ研修（平成23年1月22日、松山市 看護研修センター）

「研修に参加した後の入院患者の指導の見直し」

二宮香津子

平成22年度愛媛県糖尿病看護実践に強い看護師育成研修会 事例報告会（平成22年10月22日、松山市 看護研修センター）

「傾聴することで患者の行動の理由を理解するー信頼関係の大切さを学ぶー」

二宮香津子

第30回 愛媛看護研究学会（平成23年1月23日、松山市 ひめぎんホール）

「快適なお産を目指してーリラックスできる分娩室づくりの試みー」

鶴岡めぐみ

# 人間ドック室

## 1 概要

高齢社会といわれる今日、現代病の増加に伴い自己の健康管理はとても大切です。

予防の医学の分野で、特に成人病の予防に強い関心をもたれ、健診を希望される方が多くなってまいりました。

私達の身体は、若い時は多少の無理をしてもすぐに回復する力を持っておりますが、40代からやがて50代の坂を越えると無理ができなくなり、いつの間にか高血圧、糖尿病、癌、心臓病、肝臓病など成人病になっていることが少なくありません。

人間ドックでは、成人病を中心に全身を系統的に検査し、総合判定し、自分の健康状態を知っていただくことがその目的です。

当院では通院による“人間ドック”というシステムで実施しております。また、コンピューターに蓄積された過去のデータも参考にして個別に健康相談・指導を行っております。

## 2 業務内容

健診は予約制で、午前中の火・水・木曜日に行っております。

(平成22年度は6月～10月は第1・第3金曜日にも実施。)

- ・人間ドックコース
- ・政府管掌健診
- ・国保健健診
- ・企業健診
- ・放射線業務従事者健診
- ・その他一般健診

## 3 スタッフ紹介

医師 (胃透視 胃カメラ 子宮癌検診 乳がん検診など専門医が担当)

放射線技師

検査技師

看護師 2名

医療事務 3名

4 人間ドック受診件数（平成22年度総数）

月	再来	ブック 受診	政管	一般	院内検 診（春）	院内検 診（秋）	市役所 検診	市役所 検診（40 歳以上）	ことぶ き荘	ニック 健康診	HB・BCG ワクチ ン	ツ反・そ の他	合計
4月	9	8	47	11	113	0	0	0	0	0	1	2	182
5月	5	21	46	35	182	0	22	1	0	0	7	0	314
6月	12	33	56	96	0	0	41	0	65	0	17	6	314
7月	6	44	44	68	0	0	30	0	0	0	63	1	250
8月	7	44	51	72	0	0	0	32	0	0	78	2	279
9月	7	31	47	72	0	0	0	34	0	0	35	4	223
10月	9	35	39	56	3	168	1	34	0	29	10	9	384
11月	7	24	31	57	0	0	220	5	0	2	29	3	371
12月	7	19	43	71	0	0	5	0	0	0	9	0	147
1月	7	20	65	40	0	0	0	0	0	0	26	3	154
2月	11	24	79	24	0	0	0	0	0	0	25	0	152
3月	10	6	64	20	0	0	0	0	0	0	7	3	100
合計	97	309	612	622	298	168	319	106	65	31	307	33	2,870

# 医事係

## 1 概要

医事係は主に受付業務・医療費の計算業務・診療報酬請求業務を職員3人、日本医療事務センター職員27人で行っています。日本医療事務センターでは2001年9月より品質マネジメントシステム（ISO9001）及び2005年7月より（財）日本情報処理開発協会によるプライバシーマークを取得し、患者様により良いサービスの提供を行うとともに個人情報保護の保護に努めています。

## 2 業務実績

### (1) 在院患者数

年月	内科	小児科	外科	整形外科	脳外科	婦人科	産科	眼科	耳鼻科	泌尿器科	皮膚科	麻酔科	合計
H22/4	1,857	120	1,547	1,376	165	55	50	0	105	255	40	97	5,667
H22/5	2,157	128	1,476	1,490	319	65	64	0	88	337	33	112	6,269
H22/6	2,399	172	1,420	1,588	379	118	54	0	42	282	42	130	6,626
H22/7	2,233	112	1,811	1,148	380	143	39	0	75	334	57	194	6,526
H22/8	2,217	151	2,079	1,063	444	109	65	0	52	317	61	177	6,735
H22/9	1,832	217	1,716	1,370	331	46	28	0	1	231	47	152	5,971
H22/10	1,876	223	1,813	1,305	357	22	34	0	38	301	31	220	6,220
H22/11	1,897	214	1,636	1,399	620	0	84	0	44	217	37	146	6,294
H22/12	1,995	208	1,566	1,384	587	30	92	0	46	194	66	145	6,313
H23/1	2,287	158	1,570	1,638	661	43	79	0	7	141	49	68	6,701
H23/2	2,272	115	1,590	1,226	583	25	52	0	30	129	63	93	6,178
H23/3	2,666	82	1,531	1,136	564	41	47	0	10	246	61	128	6,512
計	25,688	1,900	19,755	16,123	5,390	697	688	0	538	2,984	587	1,662	76,012

### (2) 入院患者数

年月	内科	小児科	外科	整形外科	脳外科	婦人科	産科	眼科	耳鼻科	泌尿器科	皮膚科	麻酔科	合計
H22/4	93	25	68	34	15	8	9	0	9	16	4	6	287
H22/5	93	33	48	39	28	6	13	0	4	24	2	10	300
H22/6	102	27	59	31	18	5	7	0	6	33	5	9	302

H22/7	94	24	74	29	14	10	7	0	4	35	3	11	305
H22/8	104	29	70	39	18	3	9	0	4	26	7	5	314
H22/9	77	29	53	27	16	2	2	0	1	15	2	11	235
H22/10	76	33	63	26	18	4	4	0	3	28	4	8	267
H22/11	87	33	62	47	28	1	10	0	6	25	4	7	310
H22/12	83	38	53	33	14	2	9	0	3	17	4	14	270
H23/1	102	25	48	30	27	3	9	0	1	19	6	4	274
H23/2	91	27	68	22	22	4	6	0	3	16	6	3	268
H23/3	104	16	66	40	19	6	7	0	1	27	4	4	294
計	1,106	339	732	397	237	54	92	0	45	281	51	92	3,426

(3) 退院患者数

年月	内科	小児科	外科	整形外科	脳外科	婦人科	産科	眼科	耳鼻科	泌尿器科	皮膚科	麻酔科	合計
H22/4	74	24	63	33	11	6	7	0	7	22	2	11	260
H22/5	89	31	61	31	20	6	12	0	7	24	3	3	287
H22/6	103	31	52	46	18	5	9	0	4	30	2	8	308
H22/7	92	23	71	38	14	9	5	0	5	41	5	7	310
H22/8	96	30	66	30	16	5	9	0	5	23	5	8	293
H22/9	84	25	71	23	20	4	4	0	1	21	3	6	262
H22/10	65	36	62	41	15	5	4	0	4	25	5	10	272
H22/11	90	31	59	35	18	1	8	0	4	25	2	9	282
H22/12	85	35	67	36	24	1	9	0	5	22	7	15	306
H23/1	83	32	41	28	16	3	8	0	1	17	4	1	234
H23/2	101	26	65	39	30	5	7	0	3	11	5	1	293
H23/3	105	18	66	32	16	7	7	0	1	29	4	2	287
計	1,067	342	744	412	218	57	89	0	47	290	47	81	3,394

(4) 外来患者数

年月	内科	小児科	外科	整形外科	脳外科	産婦	眼科	耳鼻科	泌尿器科	皮膚科	歯科	麻酔科	放射線科	ドック等	合計
H22/4	1,478	461	678	2,058	208	286	339	485	1,204	725	150	11	111	182	8,376
H22/5	1,362	461	581	1,808	246	276	288	464	1,116	698	136	5	81	314	7,836

H22/6	1,690	548	707	2,125	218	317	387	573	1,196	879	151	7	109	314	9,221
H22/7	1,614	621	714	2,079	286	323	299	510	1,254	945	158	7	119	250	9,179
H22/8	1,653	649	766	1,946	259	298	372	551	1,216	1,002	169	10	102	279	9,272
H22/9	1,583	431	651	1,736	274	285	372	344	1,159	848	139	10	115	223	8,170
H22/10	1,698	497	686	1,702	284	315	289	466	1,186	729	147	5	94	384	8,482
H22/11	1,718	655	710	1,703	304	325	310	534	1,143	678	164	4	67	371	8,686
H22/12	1,636	688	682	1,675	333	286	313	457	1,240	794	122	8	81	147	8,462
H23/1	1,684	542	636	1,603	334	273	239	449	1,104	684	153	9	98	154	7,962
H23/2	1,518	600	741	1,707	316	353	275	477	1,056	738	118	4	78	152	8,133
H23/3	1,885	678	813	2,008	311	332	322	570	1,148	900	181	2	92	106	9,348
計	19,519	6,831	8,365	22,150	3,373	3,669	3,805	5,880	14,022	9,620	1,788	82	1,147	2,876	103,127

# 医療情報管理室

## 1 組織の位置づけ

診療支援部

医療情報管理室

## 2 医療情報管理室の目的

入院診療録を、整理保管かつ統計等を行う中央機構業務を目的として2008年1月開設

## 3 スタッフ紹介

看護師：1名

日本医療事務センター事務員：2名

## 4 業務報告

### (1) 情報管理室業務整備記録

2009/07/27 短期入院患者のカルテ合冊開始

2010/03/01 看護必要度集計業務開始

### (2) 業務実績

保管入院カルテ総数 1996年～ 61,700冊 (2010年3月31日現在)

詳細別紙資料参照

### (3) 医療情報統計処理

#### ① 診療部

2009年糖尿病を主病名とする入院患者数

2009年整形外科執刀医別手術件数調査

2009年度麻酔科入院総数、疾病種別、転帰別統計

整形外科疾患別 TOP10・手術別 TOP12 統計

2009年外科系各科別手術、術式別 TOP10 統計

2009年循環器疾患患者の在院日数調査

2010年上半期診療科別疾患状況 TOP5 統計



② 院外医療機関

循環器疾患調査（愛媛大学総合健康センター）

2010年大腿骨近位部（頸部）骨折調査（日本整形外科学会骨粗鬆症委員会）

5 その他の業務

(1) 診療録類保管庫整備

旧看護学校診療録類保管棚完成 2011年2月

6 2010年度業務実績

(1) 退院カルテ受理冊数

月項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受理冊数	246	289	300	298	301	266	260	303	272	253	299	306	3,393

(2) 棚入れ冊数

月項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
棚入れ冊数	148	161	224	206	293	222	232	323	195	193	140	325	2662

(3) Dr サマリー回収率

月項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
Dr サマリー回収率	84.9	89.0	74.8	72.6	71.8	73.5	72.8	74.9	74.2	65.2	73.1	75.4	75.2

(4) カルテ貸出件数

月項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
カルテ貸出件数	713	741	933	897	763	763	737	776	729	755	757	934	9,498
再入院	95	80	82	94	103	75	99	86	69	68	81	89	1,021
外来診療	70	73	90	91	75	79	69	87	65	83	52	87	921
書類・レセプト	41	60	33	37	20	35	36	28	30	34	30	32	416
検査・書類貼付	2	0	0	132	13	35	20	37	0	0	14	29	282
調査研究	37	9	159	0	2	8	0	2	1	0	43	53	314
問い合わせ・閲覧	56	57	78	59	41	36	49	46	43	33	42	49	589
サマリー作成	371	445	457	469	459	470	445	462	484	450	455	519	5,486
その他	41	17	34	15	50	25	19	28	37	87	40	76	469

(5) カルテ配送件数

月項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
カルテ配送件数	188	187	176	152	170	157	148	159	132	152	135	156	1,912

7 2010年度看護必要度

		年間集計
全体	A項目2点以上	14795
	B項目3点以上	34297
	A・2点 B3点以上両方	11701
	A項目平均点	1.0
	B項目平均点	4.1
	延べ患者数	70161
	重症判定割合 (%)	16.6%

# 地域医療連携室

## 1 組織の位置づけ

組織 診療支援部

地域医療連携室

## 2 地域医療連携室の目的

八西地域の中核病院として地域医療に貢献・病診連携を強化・医療の機能分担の推進を目的として平成14年10月開設。

## 3 スタッフ紹介

保健師1名（介護支援専門員、社会福祉士（H22.4.1～））

看護師1名（介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター2級（H21.11～））

社会福祉士1名（H22.4.1～）、日本医療事務センター職員1名

## 4 業務内容

### （1） 前方連携業務

地域診療所・病院からの診療の予約、検査の予約の受付業務

紹介医療機関への報告書および返書チェック

他医療機関受診・検査予約 転院連絡

診療情報提供依頼

受診相談

統計資料作成

### （2） 後方連携業務

退院支援

地域保健・福祉・医療機関との連携

地域連携パス

退院支援計画作成

亜急性期入院診療計画

介護連携支援

介護保険関連機関との連絡調整窓口 連絡調整業務

患者療養相談、医療福祉相談

5 紹介状況

	平成 22 年度
紹介	3,579
逆紹介	4,179

6 診療科別 FAX 紹介状況 2,756 件

内科	小児	外科	整形	脳外	婦人	眼科	耳鼻	泌尿	皮膚	放射	歯科	麻酔	救急
756	195	312	105	107	26	9	73	97	42	976	13		45

7 地域別 紹介状況 3,579 件

	市内	伊方町	西予市	大洲市	県内	県外	不明	計
FAX	1,993	359	173	136	78	12	5	2,756
持参	471	81	57	120	91	3		823

8 地域別逆紹介状況 4,179 件

市内	伊方町	西予市	大洲市	県内	県外	照会先 不明
2,594	387	255	139	400	17	387

9. 診療予約 329 件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
32	25	37	18	36	25	26	39	22	22	21	26

10 診療情報提供依頼 317 件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
33	26	40	30	22	30	21	17	28	24	15	31

1.1 紹介状に対する回答状況 平均 89.3%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
85%	89%	86%	92%	94%	94%	88%	77%	92%	91%	91%	92%

1.2 相談内容

(1) 相談件数 164件

相談内容	件数
治療内容に関する事	26
健康や病気に関する事	29
経済問題・医療費に関する事	28
医療機関及び福祉施設等の紹介に関する事	32
介護保険に関する事	15
生活全般について	26
その他	8

(2) 相談者別件数 164件

相談者	件数	備考
入院病棟	23	退院支援スクリーニングシートのない入院患者からの相談
外来	78	外来受診者からの相談
その他	63	行政・学校・介護事業所等からの相談

1.3 退院支援計画

570件

1.4 亜急性期入院医療管理計画

141件

1.5 地域連携パス

11件

1.6 学術活動

なし

## 市立八幡浜総合病院の行事等

### 1 イベント

開催日	内 容	出演者
平成 22 年 8 月 8 日	第 6 回やすらぎコンサート 「箏 絹の会」	絹の会
平成 22 年 12 月 17 日	クリスマスキャロル	幼稚園児、父兄、職員

### 2 訓練等

開催日	内 容
平成 22 年 9 月 1 日	愛媛県総合防災訓練
平成 22 年 10 月 15 日	愛媛県原子力防災訓練
平成 22 年 11 月 21 日	災害医療訓練